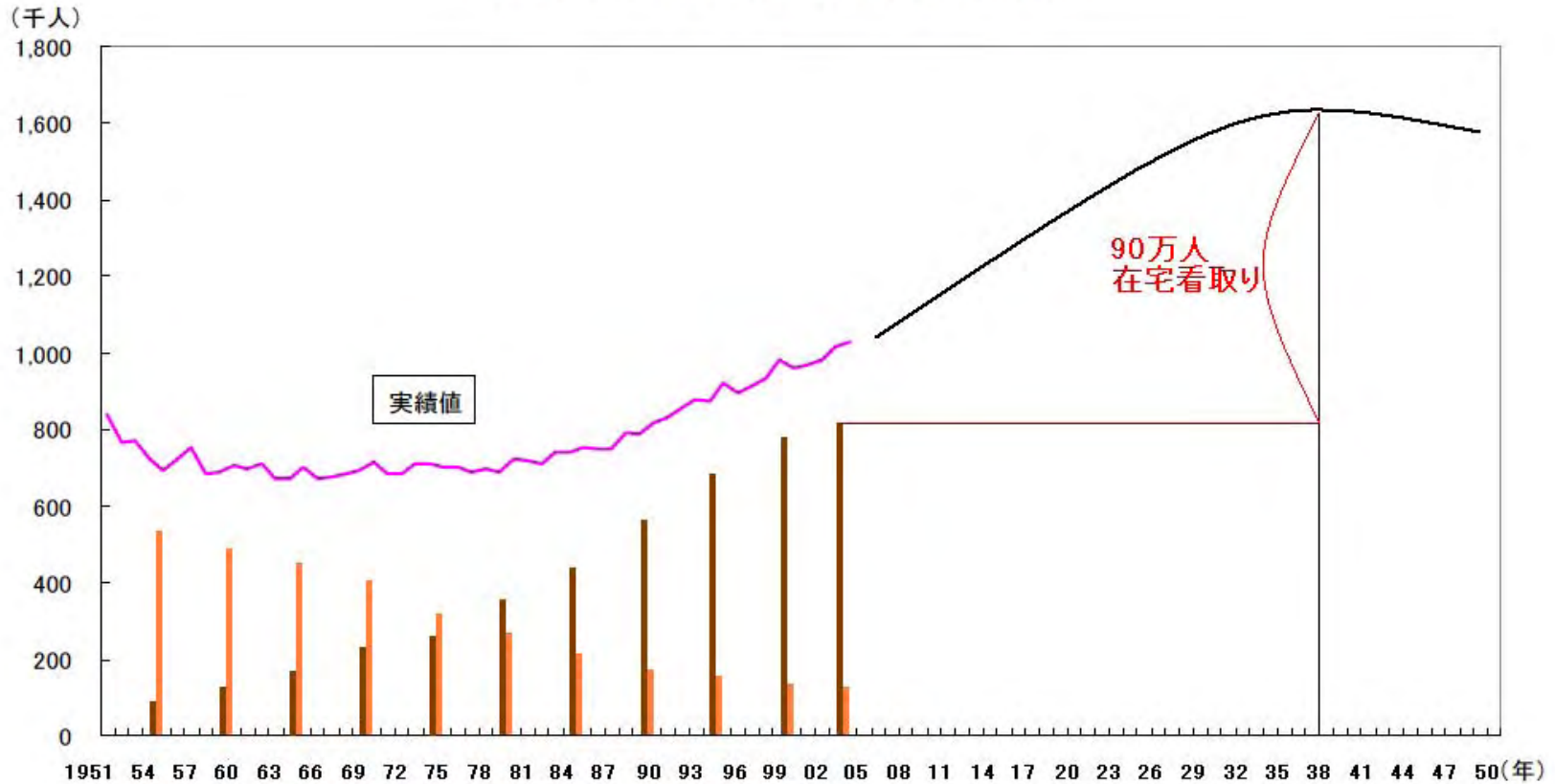


死亡数の年次推移

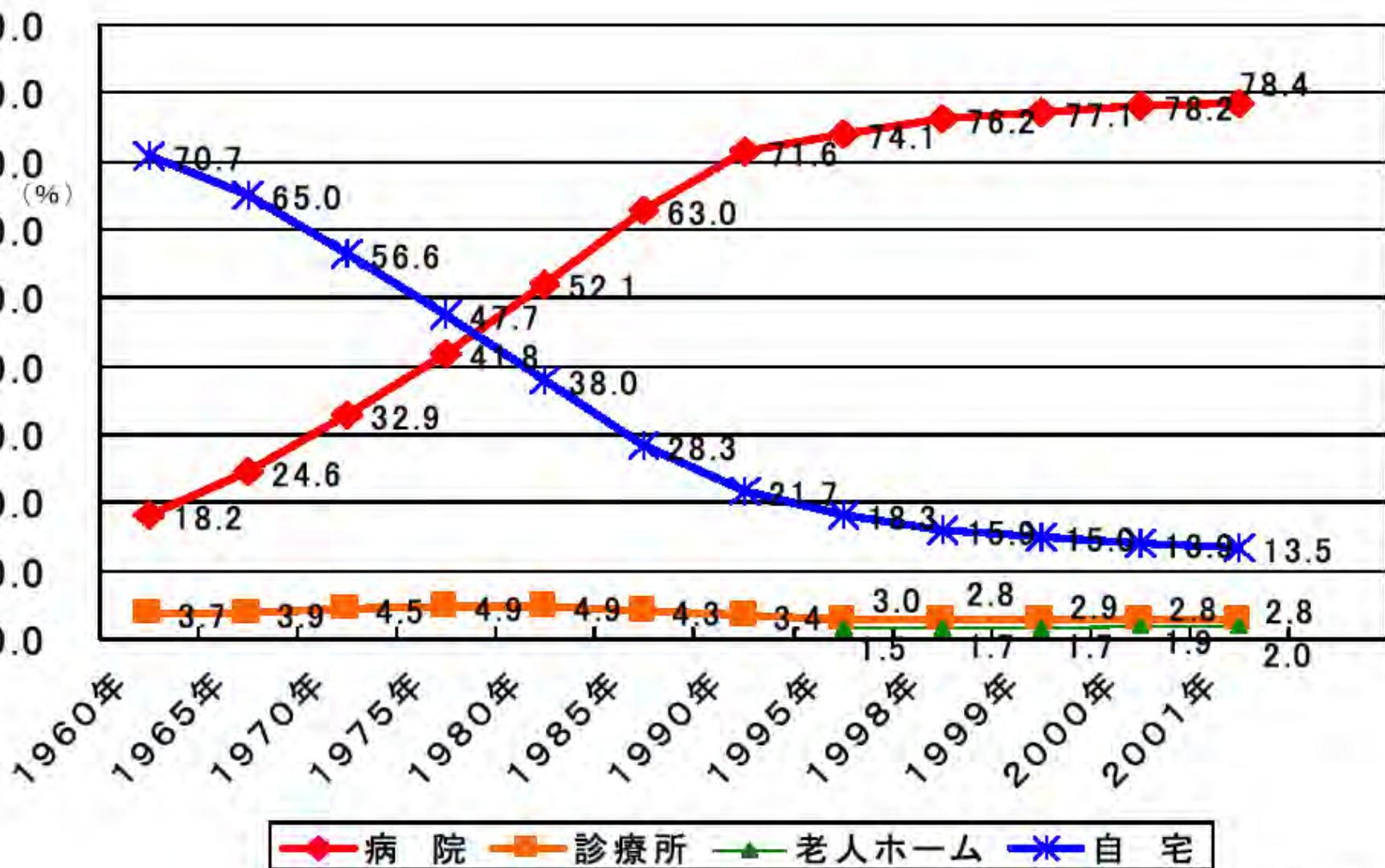


資料:平成16年までは厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」
平成17年以降は社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」(中位推計)

棒グラフ: 第1-25表 死亡数・構成割合、死亡場所×年次別 (厚生労働省統計表データベース厚生統計要覧
:第1編人口・世帯/第2章人口動態)より 目算にて追記

— 在宅での死亡者数
— 病院での死亡者数
* 診療所、他医療施設は含まず

死亡場所の年次推移

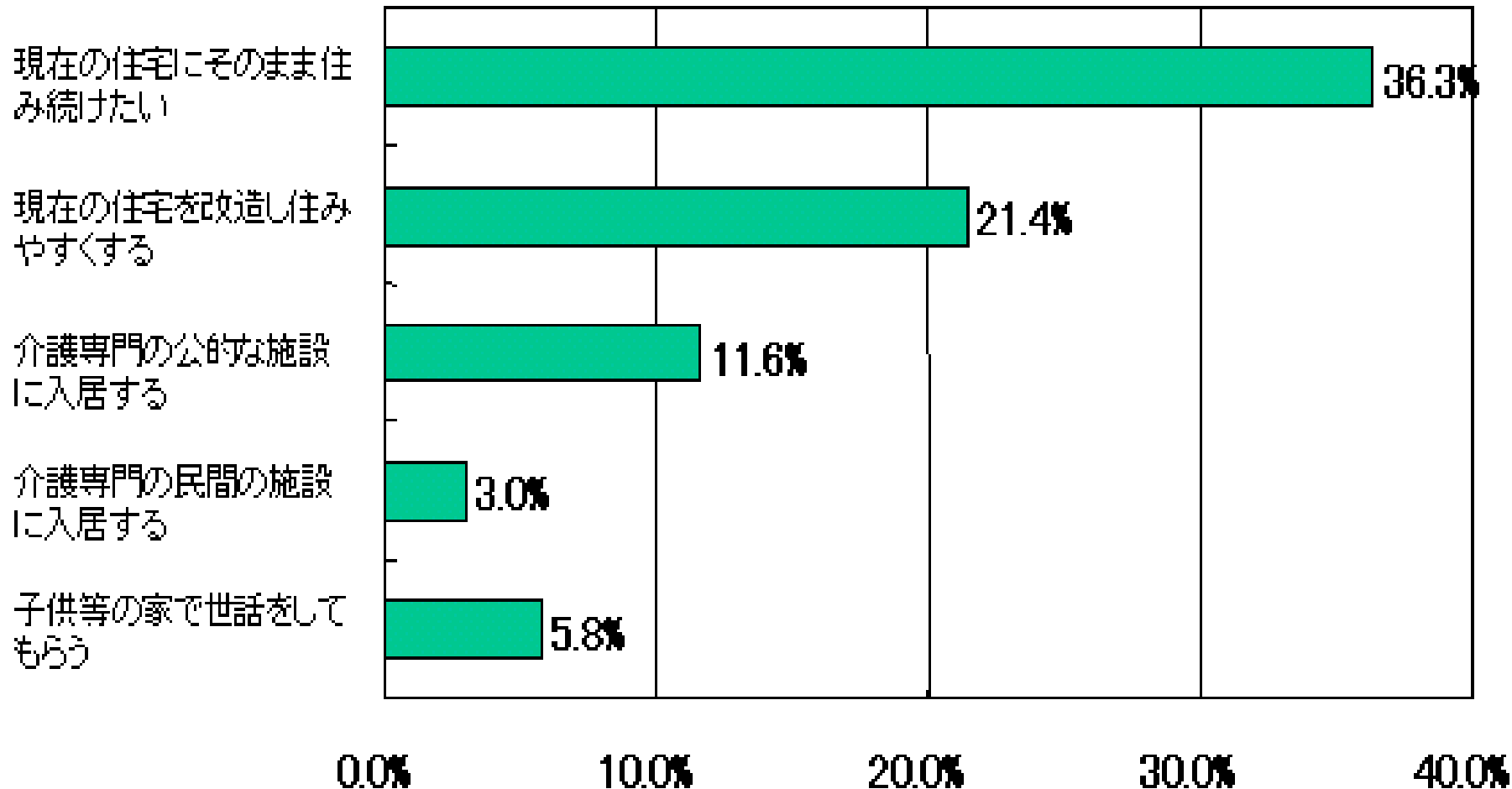


(出典:平成13年 人口動態統計)

※1990年までは老人ホームでの死亡は自宅またはその他に含まれている。

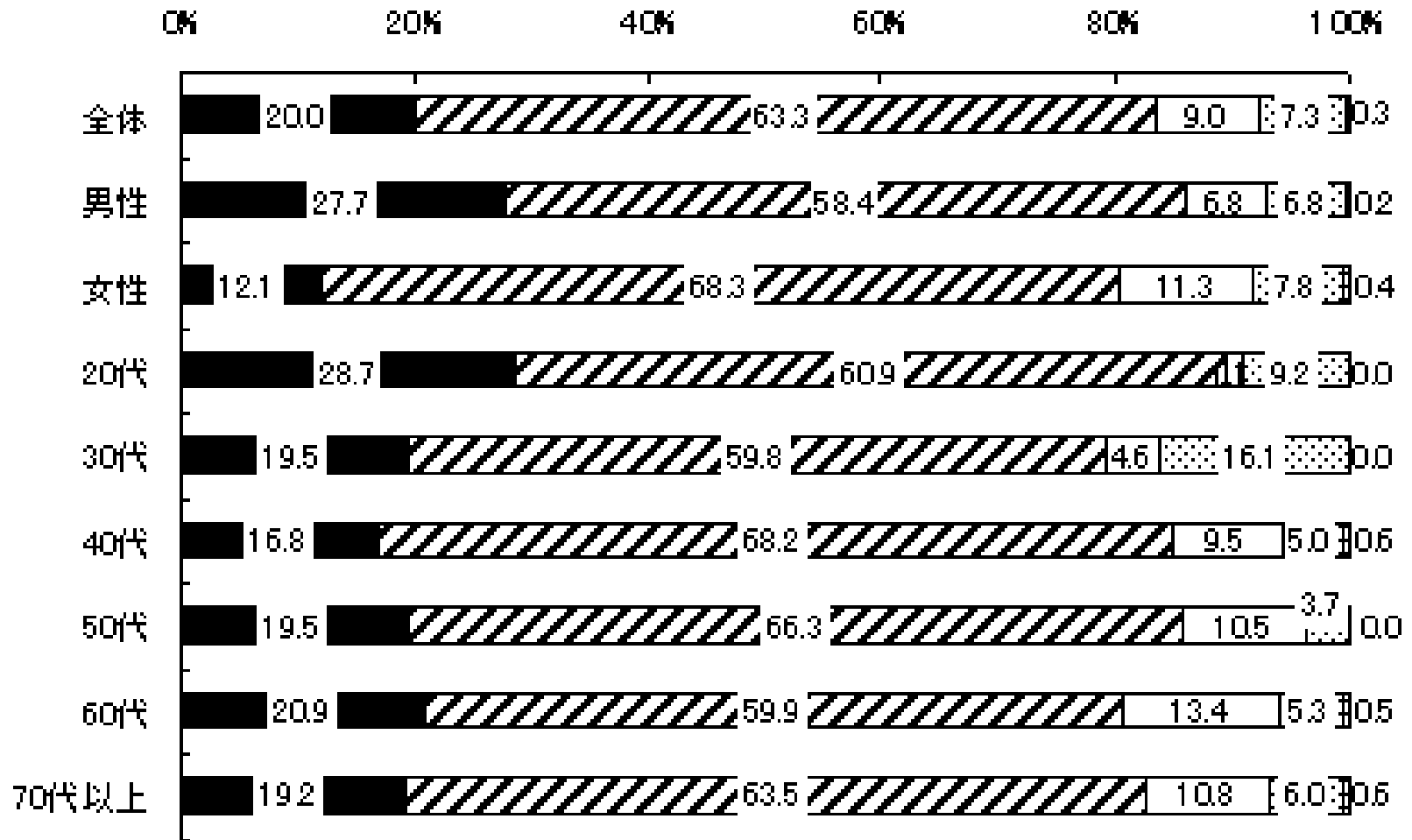
虚弱化したときに望む居住形態

(複数回答)



出典：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」(平成13年)

図表4 余命が限られているなら、自宅で過ごしたいか(性別、年齢層別)



■ 自宅で過ごしたいし、実現可能だと思う □ 自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う
 □ 自宅では過ごしたくない □ 分からない
 □ 無回答

1. 患者のニーズは居宅で終焉
2. 医療のサプライは病院死
3. ニーズとサプライのミスマッチ
4. ミスマッチの是正 → 在宅医療